

令和6年度

事業名	中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会第41回第会
期 日	令和6年5月18日（土）～19日（日）[情報交換会5月17日（金）]
参加者	情報交換会：42名、宿泊者：43名 1日目：342名、交流会：237名、宿泊者：161名 2日目：221名 参加者延べ人数 563名
テーマ	教育こそ未来より先に動かなければならない ～三浦清一郎先生を偲び、その志を継ぐ～
<p>本大会では、昨年第40回大会を記念して『教育こそ未来より先に動かなければならない～未来の必要Ⅱ～』を編集・発行しました。第30回大会を節目に作成した記念出版以来、「未来の必要」は私たちの合言葉です。編集委員長の三浦清一郎先生が示された記念誌の主要コンセプト「未来の必要」は、過去の発表事例を「未来を展望していく素材」として分析・評価し、当該事業から未来に活用できる理念を取り出し、将来起こり得る課題を予測して“本来の事業はかくあるべき”という「内容と方法を提示する」ということでした。</p> <p>しかし、未来を展望することは簡単なことではありません。社会がより複雑になり、変化が生活のあらゆる分野で起こり、新たな課題を生み出しています。変化をいち早く理解し課題に対処するためには継続的な学習と革新のための教育が必要不可欠です。また、伝統的共同体が崩れ地域のつながりが薄れている現在、第4期教育振興基本計画で掲げられた「ウェルビーイング（一人ひとりが幸せであるとともに社会全体も幸せや豊かさを感じられる良い状態）の向上」は容易なことではありません。“つどい、学び、つながる”社会教育の手法がますます重要になってきていると感じます。</p> <p>本大会は「未来を展望する素材」となる実践事例に学ぶ場であり、学びを通じて志が出会い人がつながる場です。「現場の実践」から学び（実践研究）、語り合う（交流）会として、昭和57年に三浦清一郎先生が立ち上げられました。その三浦先生が昨年11月に82歳で逝去されました。直前まで執筆、講演をこなされ生涯現役を貫かれました。第41回大会は、三浦先生を偲び、先生のご功績を振り返りつつ、その志を継いで未来を展望する会にしたいと企画を考えました。先生と親しくされてきた方々だけでなく、話したこともないという皆様もどうぞご参集ください。</p> <p>今年もまた「未来の必要」につながる24事例が集まりました。ご推薦いただいた各県実行委員の皆様にご心より感謝申し上げます。</p> <p>本会をご支援・ご指導くださいます福岡県教育委員会、福岡県立社会教育総合センターに厚く御礼申し上げます。</p>	
<p>中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 代表世話人 大島 まな</p>	

交流会の様子（発表内容及びプログラム）

【5月17日（金）】

情報交換会 19:00～21:00



【5月18日（土）】

10:00～10:30 開会式



10:30～12:20 実践発表（午前） 12事例発表（3事例×4会場）

- みんなの声を町政に反映する百人委員会
～みんなの理想を具現化した「CHIZU PARK」～（鳥取県八頭郡智頭町）
智頭町役場企画課主事 谷口 史行 氏
- 地域学校協働活動の中核としての子ども会活動に関する実践
～子ども会活動を中核に据えた地域学校協働活動～（鹿児島県始良市）
西始良校区コミュニティ青少年育成部長 鵜木 孝夫 氏
- すべては子どもたちのために～学校支援で始める地域支援～（福岡県田川郡川崎町）
川崎町社会教育委員会副委員長
川崎町立真崎小学校学校運営協議会委員・事務局コーディネーター 中村 千恵 氏

○あなたにきてほしい松島公民館 ～「公民館 どんなところ なにするところ みんなのところ」誰一人取り残さない地域を目指して～（福岡県福岡市）

福岡市松島公民館館長 坂本 孝介 氏

福岡市松島公民館主事 坂口 直美 氏

○廃れた伝統文化の更新と文化の創造

～奉納相撲の場から「栈敷の音楽会」への展開～（山口県光市）

むろづみ空想計画舎 山本 統 氏

○「地域を愛し 地域に愛される 学校づくり」

～学校と地域の活性化を目指した地域みらい留学の取組～（佐賀県西松浦郡有田町）

佐賀県立有田工業高等学校学校魅力化コーディネーター 岩谷 綾子 氏

○学園生がお年寄りを笑顔で明るくする産山村

～子どもヘルパー活動を通じた地域課題解決に向けて～（熊本県阿蘇郡産山村）

産山村社会福祉協議会保健師 高橋 正郎 氏

○子育て世代の地域づくり「だんだんプロジェクト」による手作りの児童クラブ

（鳥取県西伯郡伯耆町）

だんだんプロジェクト代表 車 浩一 氏

たくしクラブ 高野 喜子 氏

たくしクラブ 森下 希由子 氏

○ジュニア・リーダーと地域が連携した共創型「協育」

～「地域の未来」を「未来のリーダー」とつくる～（鹿児島県出水市）

出水市教育委員会生涯学習課参事兼指導主事 東 徹郎 氏

○学びにおける自己肯定感の重要性と実践的な取組（長崎県長崎市）

ながさき若者会議・あいらしくプロジェクト共同代表 出口 光太郎 氏

ながさき若者会議・あいらしくプロジェクト 大平 茜 氏

ながさき若者会議・あいらしくプロジェクト 佐伯 瑞葵 氏

○地元の大学生が挑む！地域の魅力づくりに関する研究

～温泉だけじゃない道後の新魅力の創出～（愛媛県松山市）

NPO団体イトコ道後代表 阿河 優里 氏

NPO団体イトコ道後副代表 齊藤 葵 氏

○小さな寄席小屋スタイルのチンドン屋「花ふぶき笑劇場」（宮崎県都城市）

宮崎花ふぶき一座座長 宮田 若奈 氏

13:50～15:40 実践発表（午後） 12事例発表（3事例×4会場）

○いっしょに話そう、中学校区でひとつに！

～「地域へGo to ボランティア」からうまれたもの～（島根県雲南市）

木次地区学校運営協議会会長（地域自主組織「新市いきいき会」会長）

小林 和彦 氏

雲南市教育委員会地域コーディネーター 青砥 晃子 氏

社会教育士 山根 陽子 氏

- 「ふるさとの大地に輝く氷川っ子」の育成（熊本県八代郡氷川町）
氷川町教育委員会生涯学習課統括的な地域学校協働活動推進員 古閑 由美 氏
氷川町教育委員会学校教育課CSディレクター 稲本 眞理 氏
- あなたの子育て応援します！
～「ともに」育てるネットワークづくり～（福岡県柳川市）
柳川市地域子育て支援拠点このゆびとまれ子育て支援コーディネーター 森 郁子 氏
- 地域発信！こどもサポートにっこ・にこ（大分県杵築市）
NPO法人こどもサポートにっこ・にこ理事長 小畑 たるみ 氏
- 「ない」「ない」「ない」～つやまキャンプの「ない」事例～（岡山県津山市）
津山「体験の風」実行委員会代表 小椋 聖也 氏
- 小学生による俳句相撲大会～20年を超える継承の軌跡～（山口県下関市）
菊舎顕彰会会長 古川 裕三 氏
- 地域全体で子供たちの学びや成長を支える地域学校協働活動の推進
～学校応援団の活性化と寺子屋「黒木塾」の企画・運営等を通して～
(鹿児島県薩摩川内市)
鹿児島県曾於郡大崎町立菱田小学校校長
(元)鹿児島県薩摩川内市立黒木小学校校長 平山 淳郎 氏
- 教育と福祉の融合をめざして
～つながって、地域で子どもを見守り、支える仕組づくり～（沖縄県浦添市）
一般社団法人まちづくりうらそえ 普久原 小百合 氏
- 高校生のためのサードプレイス～地域で生きる高校生のチカラ～（大分県大分市）
未来応援コミュニティb-r o o m代表 佐藤 淳子 氏
- 好きだからこそ始まった人づくり・地域づくり
～けん玉がつなげた仲間たち～（山口県山口市）
日本けん玉協会山口県支部事務局 山本 まり 氏
- 「あさはらビジョンづくりワークショップ」に関する実践研究
～ビジョンを描こう！呼びかけよう！私たちがやりたい姿はこんな感じだ！～
(広島県廿日市市)
(前)廿日市市地域振興部佐伯支所浅原市民センター所長
廿日市市地域振興部佐伯支所友和市民センター所長 中村 満 氏
- 益田市の「ひとづくり」の系譜
～なぜ「ひとづくり（社会教育）」が市の重要施策となったのか～（島根県益田市）
(元)益田市教育委員会ひとづくり推進監 大畑 伸幸 氏



16:00~16:30 特別報告

『妻の定年～家庭内男女共同参画の最終章～』遺稿を読み解く」

報告者 大島 まな



17:00~19:00 第41回大会交流会



【5月19日(日)】

特別企画 「三浦清一郎が問い続けた『未来の必要』～その教育思想と実践～」

9:00～10:10

第1部「各地生涯教育実践研究交流会の展開と意義

～大会はなぜ広がったのか、何をもたらしたのか～」

登壇者 鈴木 昭博（茨城県水戸生涯学習センター次長兼企画振興課長）
中尾 治司（国立大洲青少年交流の家所長）
武次 寛（長崎県社会教育支援「草社の会」副会長兼事務局長）
竹内 一久（宮崎県諸塚村教育委員会教育長）
聞き手 古市 勝也（九州共立大学名誉教授）



10:20～11:30

第2部「青少年教育の原点と学社連携の可能性

～タフな子どもを育てる教育プログラムと支援の仕組みを問う～」

登壇者 松田 裕見子（長崎大学教授）
森本 精造（元飯塚市教育委員会教育長）
聞き手 大島 まな（前九州女子大学教授）



11:30~12:00 総括・閉会式



参加者の声

<実践発表>

- みなさんの信念、使命感をもった活動についてお話を聞いて私たちががんばりたいと思いました。発表者の熱意を感じました。
- どの事例発表も大変参考になりました。コロナ後、人と人をつなぐこと、事業を行うことの難しさを痛感しています。みなさんの果敢に挑む発表に元気をもらいました！
- 目的をしっかりとをもって、まき込んでいく数々の取組を知ることができました。
- どれも素敵な発表でした。それぞれ方がそれぞれの場所で、自分らしく生き生きと活動されているところが素晴らしいと思いました。
- 地域全体で子育て、人間育てをされており、それが地域全体に広がっていること見習いたい。

<特別報告>

- 三浦先生の人となり、主張が的確に伝わりました。
- 三浦清一郎先生の残された想いを強く感じました。大島先生の柔らかくも強い雰囲気、三浦先生が側にいてくれる感覚でした。
- 大島先生の優しい語りにより三浦先生の深い愛の哲学が伝わりました。とてもユーモアたっぷりに伝えてくださり、心に刻まれました。
- かなり重要なキーワードが多く、「なるほど」と納得しました。確かにこんな整理の仕方があるのだなど。男女共同参画と高齢化進行の観点からも紹介したい内容でした。
- 三浦先生の男女共同参画についての考えは面白く、もっと聞きたかったと感じた。考えさせられるところも多かったです。
- 未来の必要について、三浦先生を思い出しながら、考えていました。
- 三浦先生の視点にはいつも驚かされています。うなずきながら、そして、三浦先生を想いながら聞かせていただきました。人の役に立つことが生きる原点。忘れてはいけない理念だと思います。

<特別企画第1部>

- 思いが人を動かし、実行力につながる事例が多く聞けました。
- 各地で開催されていることを初めて知りました。それぞれ工夫し、特色があるの

で、県を越えて参加してみたいと感じました。

- 各地の取組とその特徴が分かり、自分たちの活動展開に参考になりました。
- 生涯教育に携わる方々の熱い思いを感じました。
- 三浦先生の先進的な思想と断続的な活動があればこそその広がりだったのだと、知りました。また、その中に若い人年代（高校生、大学生）を取り込んだ活動を推進されたことは、素晴らしい結果につながっていると思います。
- 各地においての実践発表により日々の活動の方の励みになり、継続の力となるのだと確信しました。このような気持ちで分かり合える人が集い、輪が広がっていけば良いと切に願います。
- 三浦先生の想いが全国に広がっていったことがよくわかりました。しかもそれぞれの地域の特性に応じて発展していったことがこれからの可能性と持続される仕組につながっていくと思います。
- よいもの、必要なものはやはり広がり、思いはカタチになっていくことを実感しました。

<特別企画第2部>

- 心の中で、少し忘れかけていた「しつけ」について考えることにもなりました。学童保育が、福祉でなく、社会教育でなく、学校教育でというのは、本当に素晴らしいと思いました。
- タフな子供作りは、タフな環境づくりだと改めて感じました。
- 抽象的な課題に取り組まれ成果を出されたところに驚きました。子ども達にとってとても分かり易い目標で参考にしたいと思いました。
- 日常の生活の中にある、日常の当たり前のデータを取って気付き、参考にしていきたいと思います。そのためにはわかりやすい目標設定が大事だと感じました。
- タフー目標ー共有(プログラムづくり)のプロセスが活着ているので教員のつながりが生まれると思いました。
- 「タフ」が非認知能力のはしりのように感じながら拝聴しました。
- 「タフな子ども」を目指して、0からプログラムを作っており、驚きました。
- 学社連携はなかなか進みませんが、青少年教育を取り掛かりとして前進することを期待します。
- ストーリー性のある進め方でとても興味深く聞くことができました。

<その他>

- 様々な実践に大いに学びました。また、多くの方とつながり、またつなげることもできました。感謝するばかりです。
- 毎年この時期は、福岡に行って学び、そこに参加する方とその学びを共有できる大切な時間となっています。来年も必ず参加させていただきます。
- 参加された方々が、生き生きとしていました。大学生や若い人の参加も活気があってよかったです。
- 初めて参加してたくさんの方にご挨拶できました。ありがとうございました。社会教育に対し、こんなにたくさんの方が一生懸命活動されていることに驚きました。
- 昨年、発表の機会をいただき、たくさんのご縁が広がって、さらに活動が活発にな

りました。今年は、参加者としてそれぞれの地域での活動の発表をしっかりと聞くことができ、学びや気持ちを強く持って日々の活動に向き合うことができます。これからもこの会がさらに発展し、多くの方の活力の源となることを祈念しております。本当にありがとうございます。

- 何かやれそう！！やるぞ！！そんな「熱」が私にもあった！！と気付きました。前向き、次の一步を踏み出せそうです！！
- 行政ばかりでなく、地域の様々な立場の方々が発表されていたのが、とても刺激的でした。とても良い学びとなりました。
- 交流会で他県の方と話せて充実した1日でした。